



▲ライマ市のバーガー市長を囲んで

店頭に来年のカレンダーや手帳が並び始める頃になりました。手帳に記されたスケジュールを見ながら、今年お会いした方々の顔を思い浮かべる「師走」です。

◆11月6日から8日まで、播磨町と姉妹都市提携を結んでいるアメリカ「ライマ市」より、バーガー市長を始めとする6人の公式訪問団が来町されました。播磨町の学校や蓬生庵、病院、農業施設などを視察され、7日の大中遺跡まつりにも貫頭衣を着てご参加いただきました。今年の大中遺跡まつりは、これまでで最高と思われるほど多くの人々で終日にぎわいましたが、訪問団も会場で多くの人々と交流し、古代のまつりを楽しんでいただきました。そして、朝来市にある「播磨ふれあいの家」にも宿泊され、紅葉が美しい「日本の秋」を満喫していただきました。最後、広島原爆ドームにも行かれて帰国されましたが、過去に悲しい歴史を持つ国同士でも、このように交流を重ねることで、素晴らしい未来を築いていけるものと思います。

◆播磨町名誉町民の田中松太郎様が亡くなりました。瀬戸内の1漁村であった阿閑村が今日の発展を遂げられたのも、田中元町長が築かれた土台があってこそ「今」があると思っています。人口急増期には、幼稚園、小学校、中学校などを次々と新設され、適正規模によるゆとりある教育の実現にご尽力されました。また、播磨町地先の海岸を埋め立て、陸続きではなく島としての工場立地が実現し、内陸部への影響を極力抑えた産業活動ができていたのも、その当時、関係先への熱心な要請をされたからとも聞いております。播磨町の発展に大きなご尽力をいただいた名誉町民田中元町長の「お別れの会」を予定しています。ぜひ多くの町民の皆さまにご出席いただければ有難く思います。

播磨町長 清水ひろ子

大中遺跡まつり過去最高 35,000人のにぎわい

大中遺跡まつり実行委員会(郷土資料館内) ☎079(435)5000

播磨町の一大イベント大中遺跡まつりが11月7日、大中遺跡公園で催されました。今年はややかな秋らしいお天気に恵まれて、朝早くから大勢の人が大中遺跡公園に集まってきました。



様々な古代体験や、おいしいグルメの模擬店が並び、家族や友達と広い会場を何往復もして楽しむ人であふれていました。



楽屋裏
大中遺跡まつりの一角、播磨町民生委員・児童委員協議会のブースで2本のツリーが置かれていたことをご存知ですか？
11月の児童虐待防止月間にちなんで、オレンジリボンと子どもたちの願い事が書かれた短冊が飾られたツリーです。
「○○ちゃんといっぱい遊べますように」「○○が病気に負けないように」「プールで合かくしますように」「○○高校に合格しますように」
やさしさや夢がいつぱいのこのオレンジリボンツリーは、11月末まで役場のロビーに飾られています。
(宮)

はりま津波ひなんウォーキングを実施しました

危機管理グループ ☎079(435)0991

11月7日の大中遺跡まつりにあわせ、津波を想定した避難訓練「はりま津波ひなんウォーキング」が実施されました。3回目となる今年は、今までで最も多い133人の方にご参加いただきました。

参加者の皆さんは、それぞれに地震と津波を想定し、あらかじめ検討した避難経路をたどり、無事津波避難目標地点に到着されました。訓練終了後は、大中遺跡まつりも楽しんでおられました。



▲早い時間に続々と到着

ようこそ、交流姉妹都市アメリカ・ライマ市訪問団の皆さま

企画グループ ☎079(435)0356

11月6日から11月8日にかけて、9年ぶりに姉妹都市のアメリカ・ライマ市よりバーガー市長ほか5人の公式訪問団が来訪されました。

播磨中学校などの町内施設のほか、はりま病院や、神戸地方裁判所なども視察されました。播磨中学校では、英語の授業に参加し生徒との会話を楽しみました。



▲町長室でのごあいさつ



▲ライマ市の医師が町内病院を見学

大中遺跡まつりでは、火おこしの儀をおこなわれました。国際交流協会主催の歓迎交流会が開催され、日本文化の紹介として太鼓や飾り帯を披露し、80人以上の参加者と交流を深めました。

コミュニティ助成事業を活用し防災資機材の整備を行いました(サンシティ本荘防災会)

危機管理グループ ☎079(435)0991

サンシティ本荘防災会では、宝くじの社会貢献や普及広報事業の一環として、一般財団法人自治総合センターが宝くじの受託事業収入を財源として実施している「平成27年度コミュニティ助成事業」を活用し、防災資機材の整備を行いました。

これによりサンシティ本荘防災会は、防災資機材の整備費用として宝くじの助成金を受け、発電機、救助資機材などを購入、整備しました。

同防災会では、これらの資機材を活用した防災訓練も実施しており、従来から整備していた資機材とあわせ、来るべき災害に備えることとしています。



▲発電機、救助資機材などを購入



▲防災訓練の様子

写真提供:
サンシティ本荘防災会

わんぱくはりまっこ



2歳

よこお こうだい
横尾 暁大くん
(北野添)

また大好きなミッキーに会いに行こうね。
あなたの笑顔はママの宝物です(ママより)

※撮影時の年齢です。